

# 人権啓発センター だより

平成27年3月

No.15

(公財) 高知県人権啓発センター



## 雑感

かつて、「脱法ドラッグ」と表現されていたのが、「危険ドラッグ」と表現され、今やすっかり定着してきた。また、学校現場では長年使われてきた、「父兄（ふけい）」の表現が「保護者」と変わってきている。最近では「自殺」を「自死（じし）」に、「障害者」を「障がい者」などに表現しようとしている。

ベストな表現のしかたではないかもしれないが、よりベターな表現のしかたではないだろうか？ 私たちが普段何気なく日常生活で使っている文字・ことば（表現）に、人権という物差しを当てて考えてみることはとても大切なことであると思う。

（研修啓発課 山本）



## 人権あれこれ

### 愛と共感の教育

重度の障害のある子どもたちの教育は絶対に必要であり、生涯にわたって教育は欠かせません。

教育はどんな状態にある人でも、その人なりに意味深く生きること、言い換えてみれば価値ある人生を生きingことを側面から支える営みであるのです。社会的に自立して生きることができるようになっても、生きる喜びが実感できず充実感もないというのであれば、その人を支えてきた教育はどうであったのかが問われることになります。そのことについて滋賀県の近江学園を創設された糸賀 一雄先生は「人にとっては社会適

合が最善ではない。その人なりによく生きることが最善なのである。よく生きる必須条件は愛と共感に満ちていることである。」と言われました。ほとんどの日本人が衣食住に困窮し、福祉を顧みる余裕がない時代でしたが、先生は重度の障害児にこそ真っ先に発達を保障しなければならないと考えたのです。教育の目的はこの子らを「世の光」にすることであると言われ、この子らを社会に適合させる方向から、社会そのものを改革させる道を示してくれたのです。

（事務局長 福田）



# じんけんライブラリー

## 一押し本

### 「あなた、それでも裁判官？」

著／弁護士 中村 久瑠美  
暮しの手帖社 (1,500円＋税)

書名に惹かれ、一気に読んでしまいました。

裁判官の夫からDV(ドメスティックバイオレンス・配偶者からの暴力)を受け、波瀾万丈の壮絶なる生活を強いられ、結局、子どもを連れての離婚。その体験から弁護士になるまでを綴っている。

この書籍の序文は日野原重明医師が書いている。

(研修啓発課 山本)



## 新しく購入したバリアフリーの本を紹介します

当センターでは、点字絵本やさわる絵本などのバリアフリー関係の書籍も購入しています。障害があるなしに関係なく、誰もが楽しめる作品ばかりです。ぜひこの機会にふれてみてはいかがでしょうか。

タイトル	著者・出版社 等	参考
てんじつきさわるえほん ぐりとぐら	著：中川李枝子 絵：大村百合子 出版社：福音館書店	●点字つき・さわる絵本 ●ロングセラー『ぐりとぐら』が点字つき絵本に。従来の印刷の上に、点字とともに、絵柄も透明な樹脂インクを盛り上げて印刷し、見えにくい人にも読みやすいように、文字を一回り大きくした絵本。
てんじつきさわるえほん さわるめいろ	著・デザイン：村山純子 出版社：小学館	●点字つき・さわる絵本 ●点字の線をさわってたどる、楽しい迷路遊び。やさしい迷路から難しい迷路まで様々なレベルを楽しむことができる絵本。
ちびくま	著：キャサリン・アリソン 絵：ピアーズ・ハーパー 訳：栗栖カイ 出版社：プロンズ新社	●さわる絵本 ●指でさわって遊べるふわふわ加工がされた、動物がいっぱい。あたたかくてほっとする動物絵本。
どんなかんじかなあ	著：中山千夏 絵：和田誠 出版社：自由国民社	●第11回(2005年)日本絵本賞受賞作品 ●視覚に障害のあるともだち、聴覚に障害のあるともだち、さまざまなともだちと主人公「ひろくん」との会話の中で、読み手にいろいろな考えを運んでくれる絵本。



## 事業報告

### ピックアップ

### 平成26年度人権啓発研修ハートフルセミナー第5講座を開講しました

ハートフルセミナー第5講座「性的マイノリティもいきいきと働ける社会をつくろう」を、村木真紀さんを講師にお迎えし、11月22日（土）に開講しました。

性的マイノリティは20人に1人とも言われており、村木さん自身も当事者です。正しい知識や理解がないと、当事者やその周囲の人を傷つけてしまう可能性があるため、自分の中の常識や普通をチェックし、「パートナー」や「恋人」など性別に関わらず使える言葉を使ってみることも大切だと話してくれました。



（企画啓発課 林）

### ピックアップ

### 人権ふれあい支援事業を実施しました

人権ふれあい支援事業は、NPO やボランティアグループなどの団体が、自主的に行う人権意識の普及・高揚を目的としたコンサートや交流体験等の活動を支援することにより、人権尊重の社会づくりの推進を目的とする事業です。

今年度は、偏見や差別意識をなくし、助け合う社会づくりの推進につなげる下記の団体への活動を支援させていただきました。

団体名	事業の種類	人権課題
特定非営利活動法人室戸を元気にする会	講演会、ふれあい交流	同和問題、人権全般
香南市立赤岡小学校PTA	コンサート	外国人、子ども、人権全般
特定非営利活動法人高知こどもの図書館	ふれあい交流	子ども、障害者
大岐地区人権教育推進協議会	コンサート	同和問題、高齢者、障害者、人権全般
魂拓人（こんたくと）	ふれあい交流	同和問題、外国人、障害者、人権全般
戸波あったか教育推進会議	ふれあい交流	人権全般
「なつかしの映画で集う星のタペin 森の巣箱」実行委員会	ふれあい交流	高齢者、子ども
特定非営利活動法人ホップあきの会	コンサート	障害者

（企画啓発課 林）





# Information お知らせ



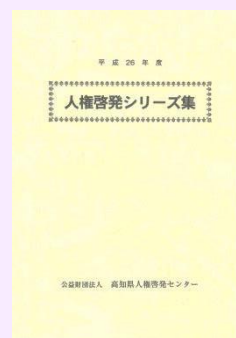
## 啓発冊子の紹介

### 平成26年度人権啓発シリーズ集

身近な人権課題について有識者の方々に執筆いただき、「人権啓発シリーズ」として昨年6月から12月まで高知新聞に掲載したコラムの概要を、先月号でもご紹介しましたが、これを編集した啓発小冊子「平成26年度人権啓発シリーズ集」が完成しました。

犯罪被害者等の人権、インターネットによる人権侵害、災害と人権などさまざまなテーマのコラムを記載しています。当センターのホームページからもダウンロードできますので、ぜひご覧ください。

また、無料で配布しますので、ご希望の方は下記までお問い合わせください。



(企画啓発課 林)



## じんけんライブラリー 利用案内

図書、視聴覚教材の貸し出しを無料で  
行っていますのでぜひご利用ください

- 図書  
1人5冊以内で、期間は2週間以内です。
- ビデオ・DVD  
1人2巻以内で、期間は2週間以内です。
- パネル  
1人3セット以内で、期間は1カ月以内です。  
※ 直接来所できない場合は送付もいたします。  
(送料は利用者のご負担となります)



## ホール案内

各種研修会等にご利用ください

- 収容人員  
270名(机を使用する場合は180名)
- 設備  
放送設備、スクリーン、冷暖房
- その他  
使用料、利用時間等についてはHPでご確認ください。

問い合わせ先

〒780-0870 高知市本町4丁目1番37号

公益財団法人 高知県人権啓発センター

E-mail : [center@kochi-jinken.or.jp](mailto:center@kochi-jinken.or.jp)

TEL 088-821-4681 FAX 088-821-4440

HP : <http://www.kochi-jinken.or.jp>